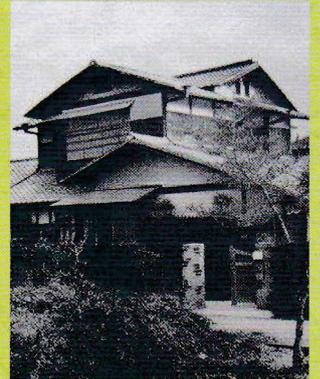
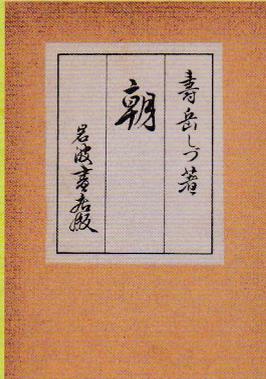


# 寿岳しづ (じゅがく・しづ 1901~81) 翻訳家・文筆家

京都府向日市上植野の住宅街に、「向日庵」と名づけられた一軒の家屋が残っています。この建物は昭和8(1933)年に英文学者の寿岳文章(1900-92)が新しく自邸として建てたもので、夫人しづ(1901-81)、長女章子(1924-2005)、長男潤(1927-2011)の一家が暮らしました。

翻訳家・文筆家の寿岳しづは、自伝的小説『朝』をはじめ、ハドソン『はるかな国 とおい昔』、ジェフリーズ『わが心の記』、オールcott『四人の少女』などの翻訳作品を出版しています。これらの作品が「アマチュア」であるひとりの女性によって生み出されたことは、近代以降の女性が歩んだ歴史においても注目されるべきことです。明治、大正、昭和の時代を生き抜いた寿岳しづの軌跡は、現代を生きるわたしたちに何かを問いかけるでしょう。



## 展示内容

- 岩橋静子から「寿岳しづ」へ  
生き立ち、寿岳文章との出会い / 小説『朝』と大正デモクラシー / 雑誌『生活者』と倉田百三
- 翻訳者  
ハドソン『はるかな国 とおい昔』 / オールcott『四人の少女』
- 文筆家  
向日庵の日々 / オピニオン・リーダー

## 特定非営利活動法人 向日庵

「向日庵」は、和紙研究者、ダンテ『神曲』の名訳で知られる英文学者・寿岳文章(1900-92)の居宅。「特定非営利活動法人 向日庵」は、一家の文化的業績を伝える活動を行っています。

ホームページ <https://koujitsuan.kyoto>

# 2021年1月23日(土)~3月14日(日)

## 向日市文化資料館 2F研修室

### 10:00~18:00 (入館は17:30まで) 入館無料

- ◆会期中の休館日  
毎週月曜日 2月2日(火) 3月2日(火)
- ◆2月7日(日)、3月7日(日)は特別講演会開催のため会場入室に制限があります。
- ◆新型コロナウイルス感染拡大防止のため、発熱などの症状がある方はご来館をお控えください。またご来館の折はマスクの着用をお願いします。



向日市文化資料館

〒617-0002 京都府向日市寺戸町南垣内40-1

阪急電鉄京都線「東向日駅」下車徒歩8分

JR「向日町駅」下車徒歩15分

Tel:075-931-1182 Fax:075-931-1121

<https://www.city.muko.kyoto.jp/kurashi/bunka/>